

就任のご挨拶

2025年度会長就任にあたって 人を大切にし、結果を出すために全力を尽くします！

東京弁護士会会長 鈴木 善和

弁護士及び弁護士会、取り分け当会は、これまで弁護士の使命である人権擁護と社会正義の実現のための様々な活動に取り組んでまいりました。しかし、この誇りうる活動を支える基盤、これは紛れもなく、弁護士が職業として成り立っていることを前提とし、加えて弁護士の職務の独立性を担保する弁護士自治があつてのことです。

弁護士は資格であるのみならず職業です。日本国憲法において唯一その存在が明記された非公務員である職業、それが弁護士です。弁護士という職業が憲法に明記されているのは、正に弁護士が法の支配の担い手であり自由で民主的な社会にとって欠かせない存在だからです。

司法制度改革が始まって四半世紀が経ち、様々な議論がありながらも法曹人口は5万人規模となりました。社会の隅々に法の支配を行き渡らせるという司法制度改革の理念はそれなりに成果をもたらしてもいます。しかし他面、法曹人口の大部分を占める弁護士人口の大幅増加が大きく影響し、弁護士各人の所得水準の下落をもたらしていることも否定できません。弁護士会の責務は、言うまでもなく、職業人としての弁護士の経済的基盤を維持し拓げること、まずはここにあります。私は、歴代の役員が担ってきたこの責務を引き継いで、役員の方頭に立って、その責務を果たすために全力を尽くしてまいります。

弁護士自治の維持の観点では、会員が9300人を超えるに至りその多様化も進んでいる当会においては、会派に所属しない会員が増えていることへの配慮は欠かせません。

まずは、会員集会や各会派への意見照会に加えて、

会員一般に対する意見公募を行い、会内合意の質を高める必要があります。

それと、積極的情報公開です。当会では、文書閲覧・閲覧規則により、各種議事録を含む会務に関する書類についての情報公開制度は相応に整っています。しかし、申請すれば閲覧・閲覧が認められる書類であれば、積極的に会員サイトから閲覧できる仕組みを徐々に広げて行く必要があります。まずは無理のないところから、例えば、総会議事録や常議員会議事録について、必要に応じた匿名化処理を行った上で、会員サイトから閲覧できるようにしてまいりたいと思います。

財政健全化、これには引き続き緊張感を持って取り組まねばなりません。他方、事務局職員の皆さんの疲弊も指摘されています。人を大切にしなない組織は滅びます。職員は当会を支え発展に寄与してくれる大切な仲間です。職員が今までも増して誇りと働きがいを感じられる職場にする、このことも役員が担うべき重要な課題です。

私は、これからも会員の皆が誇りうる当会であり続けて、多くの新入会員を迎え、2030年の創立150周年を1万人の会員の皆で迎えたいと思います。そのためにも、会員増強のための取組みを、いま一度スタートさせたいと思います。

会務の営みは、襷を繋いでいく駅伝に似ています。課題を引き継ぎ、その引き継いだ課題に何かしらをプラスして次に引き継ぐ、どこかで花開くことを信じて、しかし今しかない課題には結果を出すために力を尽くす、この気概で駆け抜けてまいります。

宜しく願い申し上げます。

2025年度の役員に
誌上インタビューを行いました。
1年間よろしくお願いいたします。

質
問

- ① 一番関心があること
- ② 一番大切にしていること
- ③ 長所・短所、趣味
- ④ 座右の銘

どこかで花開くことを信じて！

会長 鈴木 善和 (39期)



- ① 一番関心のあることは、今ということですが、再審法改正、選択的夫婦別姓、空襲等民間戦災者に対する援護法の各法案の行方と、これらは皆国会マターですので、そのベースにある政局です。
- ② 一番大切にしていることは、人であり人としての情です。
- ③ 人に優しく、寛容であること、これは多分長所でもあり、弱さという点で短所でもあ

ると思います。趣味は、全然上達しないゴルフです。この1年は殆ど出来ないとは思いますが。

- ④ 座右の銘ですね、理事者としてということだと、「勝兵は先ず勝ちて而る後に戦いを求め、敗兵は先ず戦いて而る後に勝を求む」です。孫子です。弁護士が代理人や弁護人として活動する場合にも当てはまります。

人が集まる弁護士会に

副会長 五十嵐 裕美 (46期)



- ① 弁護士会については、多様な人材が会内で活躍できる環境を整えること。それが弁護士会の活力を生むと信じています。対外的には世界の平和。世界中の人が、安全で清潔なところで飢餓に苦しむことなく生活できるようになってほしいと願っています。
- ② 人とのつながりを大事にしたいと思っています。それと、健康でしょうか。体力にやや自信がないので、1年間、健康で会務に励め

るようがんばります。

- ③ 長所：バランス感覚がよいと言われます。
短所：気が短くてせっかちなところ
趣味：旅行・散歩・安くて美味しいワインを飲むこと
- ④ 「明日できることを今日するな」
今やるべきことに集中するためと、せっかちさを諫めて。

課題に応える強靱な弁護士会を

副会長 豊崎 寿昌 (48期)



- ① 弁護士と弁護士会が社会の中での立ち位置を見失わないようにしながら、できるだけ多くの会員の支持を得て着実に課題を解決していくにはどうすればよいか、ということを考えています。
- ② 「正しさ」が暴走しないことです。
- ③ 長所：はっきりと発言すること、言動に一貫性を持つこと（でしたが年とともに曖昧に…）。短所：気が短いこと（年を取っても

直らないw)。趣味：ライフワークとして日本泳法（水府流太田派、範士資格取得）、スキー（上達は断念）、旅行（国内温泉巡り、最近は聖地巡礼も）、劇場での映画鑑賞（シネフィルとは対極のミーハーorオタク的作品を好む）

- ④ 「下手な自分にできる最高の仕事をしよう」（小学校6年生の時の担任の先生が紹介した誰かの言葉です。誰かは忘れましたが）

より頼りがいのある弁護士会に

副会長 菅沼 真 (50期)



- ① 弁護士あるいは弁護士会が市民から信頼され、頼りにされる存在であり続けるために、今、何をすべきか。
- ② 複眼力。今は亡き恩師から「物事を一方向からだけでなく、様々な角度から見るのが大事」と教えられました。
- ③ 長所は、粘り強いところでしょうか。言い方を変えると、諦めが悪いだけかもしれません。短所は、筆が遅いことです。任期中に何とか改善したいと思います。

趣味は、旅行（知らないところをぶらぶら歩くこと）とスポーツ観戦で、駅伝に関しては、かなりマニアックです。

- ④ 「勝ちに不思議の勝ちあり 負けに不思議の負けなし」

野球の野村克也監督が好んで使っていましたが、もともとは平戸藩主の言葉のようです。良い結果が出なかった時など、運が悪かったで済まさず、その原因を考えるようにしています。

会員とともに歩む弁護士会に

副会長 的場 美友紀 (52期)



- ① 日々変化していく社会の中で、弁護士会が市民にとって信頼される存在として未来に向かって進むために、弁護士一人ひとりの思いや考えを尊重しながらも、弁護士会はなにをどうできるのか、どうあるべきかということ
- ② 誠実、公正、謙虚であること
感覚と論理のバランス
覚悟をもって決断すること

- ③ 長所は、細く長くあきらめないこと、いろいろなことに好奇心が強めであること

短所は、全般的におおざっぱなのに事柄によっては気にしすぎる

食べ歩き（趣味とはいえませんが、食に関する情報全般に関心があります）、ゴルフ

- ④ 「やらずに後悔するくらいなら、やって後悔したほうがいい」「道を選ぶときは、より困難なほうを選べ」「風を待つ」

困難な状況も跳ね返す弁護士会の力

副会長 大森 顕 (53期)



- ① 再審法改正と当会の未来、数年先の世界
- ② 自分らしくあること
- ③ 長所：めったに怒らないところ
短所：めったに怒らないところ（怒るべきところでは怒らないといけないから）
趣味：オープンカーに乗ること
- ④ 「12時間もあればジェット機だって直る」
これは、映画「ルパン三世 カリオストロ

の城」（宮崎駿監督 1979年 東映）で、瀕死の重傷を負いながら、難攻不落のカリオストロ城からヒロインを明日中に救い出さなければならない状況でルパンが言ったセリフ、「うるへー！ 12時間もありゃ ジェット機だって直らあ！」が引用元です。仕事が重なり「ダメかも」と感じた時に、弱気になった自分に言ってやっています。

堅実かつ安心な運営を

副会長 西川 一八 (54期)



- ① 「人」でしょうか。弁護士会は人の集まりですので、会員のみなさん、職員のみなさん、関係する人たちが安心して笑顔でいられるように、職務に取り組みます。
- ② 人と接点を持つときには、説明とか納得感とか、意思の疎通が大切だと思います。私が上手にできるのかというと、それはまた別のことですが、日々修行中です。

- ③ 長所は、温厚、慎重で辛抱強いところ、短所は、考え込むと初動が遅いこと。

趣味は、読書。移動時間はほぼなにがしか読んでいます。

- ④ 「なるようになる」

やるべきことをやった後は、悩んでも仕方がないので、このように考えることにしています。

適正な監査に努めます

監事 川瀬 渡 (60期)



- ① 世界平和に関心を向けています。
弁護士会の財政に関しては、会館修繕積立金とシステム改修の動向を注視しています。
- ② 睡眠時間を大切にしています。
- ③ 長所：特に見当たりません。
短所：夜型、左利き
- ④ 趣味：山登り、インドなどに行くこと
「鷓鴣（しょうりょう：ミソサザイという野鳥のこと）、深林に巣くうも一枝に過ぎず」（莊子）
起きて半畳寝て一畳を心がけております。

弁護士会の未来に向けて

監事 松下 賢一郎 (60期)



- ① 弁護士会は何のためにあるのか、どのような活動をしていくべきなのか、何にお金を使うべきなのか等を改めて考えてみたいと思っています。
- ② 人との関わりを大事にしながら、今を楽しむ気持ちを忘れないこと。
- ③ 長所は同じことを長く続けられるところ。
短所はテンションが低くみえるところ。
趣味はスポーツ観戦、お酒を飲むこと（詳しいわけではありません）。
- ④ 「ネガティブに考えるな。ポジティブに考えろ」
昨年ある人が言っていた言葉ですが、不安になったときに心の中でつぶやいています。

2025年度 常議員 (80人)

荒俣 航輔	飯田 丘	生田 康介	池田 真理	伊佐山哲郎	石北 靖洋	稲元 祥子	上杉 崇子
臼坂富士彦	榎木 純一	海老原信彦	大塚 康貴	岡本 翔太	奥 国範	小椋 悠聖	加藤 滉樹
兼川 真紀	金谷 達男	木嶋 純子	北畑 亮	國井 友和	久保 武士	小林 亞樹	小林明日香
小林 大貴	三枝 恵真	阪本 文子	桜井 祐子	佐々木公洋	塩田 隆弘	塩谷 太郎	志賀 剛一
重富 智雄	下川 慶子	白井 亮	須郷 知徳	高井健太郎	高島 希之	綱島 正人	角田 伸一
手打 寛規	寺澤 春香	土肥 衆	外山 太士	永井 萌香	永石 一恵	永田 敏樹	中野 敬子
西尾いづみ	西川 文彬	西田 穰	西村 健	二瓶 茂	萩生田 彩	長谷川恵美子	長谷川直彦
長谷川伸城	馬場 洋尚	林 純子	半田 虎生	坂東 雄大	日高 絢子	廣瀬健一郎	福崎 聖子
福原 勇太	保坂 理枝	堀 浩介	前田 光貴	増岡 研介	町田 行功	松崎 大樹	水村 佳和
望月 爽介	柳井 聡	柳澤 里衣	山口 秀雄	山本 暢明	横田 博文	吉田 哲也	吉直 達法

2025年度 日弁連代議員 (96人)

浅尾 弘一	荒俣 航輔	飯田 丘	五十嵐裕美	井川憲太郎	生田 康介	池田 真理	伊佐山哲郎
石北 靖洋	稲元 祥子	上杉 崇子	臼坂富士彦	榎木 純一	海老原信彦	大塚 康貴	大森 夏織
岡本 翔太	奥 国範	小椋 悠聖	柿沼 彰	加藤 滉樹	兼川 真紀	金谷 達男	加納小百合
木嶋 純子	北畑 亮	國井 友和	久保 武士	小林 亞樹	小林明日香	小林 大貴	三枝 恵真
阪本 文子	桜井 祐子	佐々木公洋	塩田 隆弘	塩谷 太郎	志賀 剛一	重富 智雄	島 由幸
下川 慶子	白井 亮	菅沼 真	須郷 知徳	高井健太郎	高島 希之	綱島 正人	角田 伸一
手打 寛規	寺澤 春香	土肥 衆	外山 太士	永井 萌香	永石 一恵	永田 敏樹	中谷 達也
中野 敬子	中邨 仁	西尾いづみ	西川 文彬	西田 穰	西村 健	二瓶 茂	萩生田 彩
長谷川恵美子	長谷川直彦	長谷川伸城	馬場 洋尚	林 純子	半田 虎生	坂東 雄大	日高 絢子
廣瀬健一郎	福崎 聖子	福原 勇太	保坂 理枝	堀 浩介	前田 光貴	増岡 研介	益田 樹
町田 行功	松崎 大樹	的場美友紀	馬淵 裕二	水村 佳和	望月 爽介	柳井 聡	柳澤 里衣
山口 秀雄	山本 暢明	山本 凜	横田 博文	吉岡いづみ	吉岡 剛	吉田 哲也	吉直 達法

* 50音順・敬称略